

久留米工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	応用英語2	
科目基礎情報							
科目番号		4E02		科目区分		一般 / 必修	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2	
開設学科		電気電子工学科		対象学年		4	
開設期		後期		週時間数		2	
教科書/教材		Food CLIL (増進堂・受験研究社)					
担当教員		白井 龍馬					
到達目標							
1. 「英語で学ぶ」経験を通して、英語4技能をバランスよく伸ばすだけではなく、英語で様々なタスクをクリアする汎用能力も高めていく。 2. 「食べ物と諸社会問題との関連」について英語で学ぶために必要な語彙や文法を習得する。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
英語運用能力		英語で提示される学習内容を理解し、それに対して自分が考えたことや感じたことなどを表現できる。		学習内容が英語で提示されたとき、それについて理解できる。		英語で提示された内容が理解できない。	
汎用能力		提示された内容について、クラスメイトの考えや感想を踏まえて自分の意見を相対化させ、発展させることができる。		提示された内容について、考えたことや感じたことを適切な方法で他者に伝えることができる。		提示された内容について感想や考えをもつことができない。	
語彙、文法、構文		テキスト本文で使用されている語彙や文法や構文の80%を習得する。		テキスト本文で使用されている語彙や文法や構文の60%を習得する。		テキスト本文で使用されている語彙や文法や構文の60%を習得できていない。	
学科の到達目標項目との関係							
4							
教育方法等							
概要		これまでに習得した語彙・文法・構文の知識に基づいて、提示された内容について英語で理解し、対話しながら学びを深めていく。					
授業の進め方・方法		授業は教科書に沿って進める。教師の一方的な解説の時間はほとんどなく、学生同士が対話しながら授業内容を徐々に深めていく。					
注意点		(1) 定期試験50%、課題提出50%を目安として評価する。 (2) 評価基準：60点以上を合格とする。 (3) 再試験：必要に応じて実施するが、授業に参加し、課題を提出した学生を対象とする。 (4) 事前学習：教科書や参考書の指定された箇所を事前に読んでおくことを予習として課す。 (5) 学修単位：本科目は学修単位であるため、1単位当たり45時間（授業15時間に対して30時間に相当する授業以外）の学修が必要である。毎回の授業にて指定される課題について取り組む。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション		授業の内容と学習の仕方を理解する。		
		2週	Unit1 Coffee beans		食品輸入の環境負荷について英語で学ぶ。		
		3週	Unit2 Bananas		食品大量生産の環境コストについて英語で学ぶ。		
		4週	Unit3-1 Olives		食品生産をめぐる地域の軋轢について英語で学ぶ。		
		5週	Unit3-2 Avocados		食品生産をめぐる地域の軋轢について英語で学ぶ。		
		6週	Unit4 GMO products-1		遺伝子組み換え食品の可能性について英語で学ぶ。		
		7週	Unit4 GMO products-2		遺伝子組み換え食品の可能性について英語で学ぶ。		
		8週	復習		これまでの内容を復習し定着させる。		
	4thQ	9週	Unit5 Technology and Food		食品生産に使われる科学技術とその環境負荷について英語で学ぶ。		
		10週	Unit6 Vegetarianism		菜食主義と文化的相互理解の重要性について英語で学ぶ。		
		11週	Unit7 Halal Food		宗教観と食文化の関係について英語で学ぶ。		
		12週	Unit8 Presentation (Prep)		プレゼン準備		
		13週	Unit8 Presentation-1		プレゼンテーションを行う。		
		14週	Unit8 Presentation-2		プレゼンテーションを行う。		
		15週	成績確認・復習		成績確認・復習		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。		3	後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14

	試験	課題提出	合計
総合評価割合	50	50	100
基礎的能力	50	50	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0